



L'Alfa Romeo sull'acqua

アルファ・ロメオの歴史

(by Elvira Ruocco)

記事 6

海馬（タツノオトシゴ）

水上のアルファ・ロメオ

アルファ・ロメオのエンジンはレースに挑み、勝利しました。アルファ・エンジンは敗れることを知らない強さをレーストラックのみならず、水上レースでも証明してみせました。

アルファ・ロメオの水上での最初の勝利は1929年、Pavia-Venezia Raid（パヴィア - ヴェネツィア・レイド）の年まで遡ります。後に1937-1938-1939の3年連続のめざましい成功を達成したアルファ・ロメオはマリン・エンジン開発に貢献することで、その効率的なエンジン開発能力を示しました。

1938年、モディファイの機会を得た12シリンダー（4.5リッター）レーシングエンジンはPassarin（パッサリン）タイプのスピードボートに搭載され、イタリア国内と国外でハードなテストを実施し、実に満足のいく結果を残し、ヴェネツィアやミュンヘンでのスピードボートコンテストおよびジェノヴァ、ミラノでの国際コンクールで成功をおさめました。

1939年、スピードボート最強記録のうちのひとつをフランスから奪います。Bracciano（ブラッチャーノ）湖の水上にて850馬力のアルファ・ロメオ・スター・エンジンを搭載した重量800kgのスピードボートが平均121.710 km/hを記録したのです。



この有益なスピードボート活動は世界紛争で中断され、戦後再開されます。有名なTipo 158、および159のエンジンでMauro Verga（マウロ・ヴェルガ）やEzio Selva（エツィオ・セルヴァ）といった偉大なパイロットが1953、1956、1957年の世界タイトルを獲得し、現代の世界的な水上スポーツの記録ブックにおいてもいまだに価値が認められるほどの多くのスピード記録を打ち立てました。他にも重要な記録を打ち立てたのは、Campari Trofeo（カンパリー・トロフェイ）でのGiuseppe Gastaldi（ジュゼッペ・カタルディ）や、Giulio de Angelis（ジュリオ・ドゥ・アンジェリー）、Leopoldo Casanova（レオポルド・カサノヴァ）、Franco e Guido Caimi（フランコ&グイド・カイミ）、そしてスピード・長距離・耐久の国内・大陸・世界タイトルを総なめにしたGiancarlo Cepecchio（ジャンカルロ・カペッキオ）があげられます。これらの記録には、Giulietta, Giulia GTA, TZ, 2600（2.5リッター化）といった生産型エンジンが含まれていて、世界中で勝利したために、より説得力のある結果を残すことになりました。



1970年、Eugenio Molinari（エウジェニオ・モリナーリ）はアルファ・ロメオ1750エンジンで2つのワールド・レコードを叩き出し、1971年には、Franco Giliberti（フランコ・ジリベルティ）がMontreal（モントリオール）とGiulia 1300のエンジンでワールド・レコードとなる2つのスピード記録を打ち立てました。1972年には、Leopoldo Casanova（レオポルド・カサノヴァ）がキロメートル距離とマリン2.4マイルで2つの価値あるワールド・レコードとなるスピード記録を出しました。この2つの成功は技術的視点で見ると大変意義深いものでした。なぜなら、2000GTVの生産型エンジンを搭載して出した記録だったからです。

この勝利の記録はこのまま継続されるでしょう。アルファ・ロメオのスピードボート活動は成功という名の鎖が繋がった長いチェーンのようなものでした。アルファ・ロメオのエンジンが参加したいかなるカテゴリーやクラスでも、国内、国外どんなイベントでも記録が打ち立てられないということがありませんでした。まさに、センセーショナルな成功物語でした。



Elvira Ruocco